

28. 新卒採用看護師の離職防止

防衛医科大学校病院 湯瀬 静枝

【実践の概要】

当院では平成20年4月、16名の看護師増員が認められた。しかし、19年度からの欠員と増員の未充足、退職者と平成20年9月末時点35名の欠員状況であった。特に4月採用の公募者18名中7名（内新卒者5名）が退職し、離職率39%となった。原因分析した結果は、①卒後研修や受け入れ態勢に対する不満②他者を受入れない職場風土③指導体制の不備であった。そこで、これらを改善し人材確保として公募新卒採用者の離職防止が重要と考え、課題に取り組んだ。

【実行計画】

1. 目標：公募の新人看護師が離職しない職場環境を整備する
2. 対象：公募採用者、看護師長、看護副師長
3. 期間：平成20年12月から平成22年3月（今回は平成21年1月末まで）
4. スケジュール：
 - ① 平成20年12月：看護師不足に伴う「看護単位編成案」を医事課との共同作成
 - ② 平成20年12月末：公募者へのアンケート調査（離職、研修期間等）

「看護単位編成」に伴う人員配置編成の検討

3. 結果およびまとめ

1) 「防衛医科大学校看護師確保・処遇改善委員会」の発足

看護師不足に危機感を持った大学側が、平成20年11月管理担当副校長を委員長とし発足。大学、病院、看護部で2回会合が持たれた。

2) 「看護単位編成案」の作成

医事課、診療担当副院長と協議し12月初旬作成した。それを診療担当副院長が12月上旬の病院部長会に提案した。その後、看護師、診療科等の意見を取り入れ最終的に1看護単位60床の13看護単位とし、1月の病院部長会、病床看護管理委員会、2月上旬の臨時病院部長会で了承された。編成の主旨は、①新人看護師教育の充実と入職3ヶ月の夜勤免除②看護師の労働条件軽減と医療安全の観点から病棟夜勤原則4人体制③救急体制の充実としてHCUに準ずる病床8床設置の3点である。「看護単位編成」の実施は、2月10日から開始予定である。

3) アンケート調査実施

調査項目は、教育専任看護師長が研修体制について開発した項目に①離職したいと思った時期②思いとどまった理由③夜勤に入る時期④初任実務研修制度の必要性⑤他者を受入れない雰囲気の有無等追加してもらい1月上旬に公募者と併設の看護学院卒の採用者に調査した。公募者の結果は、①については4月から12月までのどの時期もいるが5月8月が多かった。併設の学院卒者も5月9月とほぼ同様②については両者とも一番が「同期・友人・家族の励まし」、次は「仕事ができるようになった」であった。③については公募者が3か月後に対し併設の看護学院卒者は1か月後が多かった。④については公募者全員、併設の看護学院卒者の9割が必要と答えている。⑤については公募者全員、併設の看護学院卒者8割も有りだと答えている。

4. 今後の課題

- 1) アンケート調査結果を看護師長・看護副師長に提示し、部署別に受け入れ体制の依頼
- 2) 4月採用の新人看護師の定期的な面談の実施と「看護単位編成」に伴う職場環境の評価